

GA-8I915PL-G

Intel® Pentium® 4 LGA775 プロセッサマザーボード

ユーザーズマニュアル

改版 1001

目次

第 1 章 ハードウェアのインストール	3
1-1 取り付け前に	3
1-2 特長の概略	4
1-3 CPU とヒートシンクの取り付け	6
1-3-1 CPU の取り付け	6
1-3-2 ヒートシンクの取り付け	7
1-4 メモリの取り付け	8
1-5 拡張カードのインストール	10
1-6 I/O 後部パネルの紹介	11
1-7 コネクタはじめに	12

第1章 ハードウェアのインストール

1-1 取り付け前に

コンピュータを用意する

マザーボードには、静電放電(ESD)により損傷を受ける、様々な精密電子回路および装置が搭載されていますので、取り付け前に、以下をよくお読みください：

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. マザーボードを取り扱う際は、金属部またはコネクタに触れないでください。
3. 電子部品(CPU、RAM)を取り扱う際は、静電防止用(ESD)ストラップを着用してください。
4. 電子部品を取り付ける前に、電子部品を静電防止パッドの上、または静電シールドコンテナ内に置いてください。
5. マザーボードから電源コネクタのプラグを抜く前に、電源が切断されていることを確認してください。

取り付け時のご注意

1. 取り付けの前に、マザーボードに貼布されているステッカーを剥がさないでください。これらのステッカーは、保証の確認に必要となります。
2. マザーボード、またはハードウェアを取り付ける前に、必ず、マニュアルをよくお読みください。
3. 製品を使用する前に、すべてのケーブルと電源コネクタが接続されていることを確認してください。
4. マザーボードへの損傷を防ぐため、ネジをマザーボード回路、またはその機器装置に接触させないでください。
5. マザーボードの上、またはコンピュータケースの中に、ねじ或いは金属部品を残さないようにしてください。
6. コンピュータを不安定な場所に置かないでください。
7. 取り付け中にコンピュータの電源を入れると、システムコンポーネントまたは人体への損傷に繋がる恐れがあります。
8. 取り付け手順や製品の使用に関する疑問がある場合は、公認のコンピュータ技師にご相談ください。

保証対象外

1. 天災地変、事故又はお客様の責任により生じた破損。
2. ユーザマニュアルに記載された注意事項に違反したことによる破損。
3. 不適切な取り付けによる破損。
4. 認定外コンポーネントの使用による破損。
5. 許容パラメータを超える使用による破損。
6. Gigabyte 製品以外の製品使用による破損。

1-2 特長の概略

CPU	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 最新の Intel® Pentium® 4 LGA775 CPU をサポート ◆ 800/533MHz FSB をサポート ◆ L2 キャッシュは CPU により異なります
チップセット	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ノースブリッジ : Intel® 915PL エキスプレステチップセット ◆ サウスブリッジ : Intel® ICH6
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2 DDR DIMM メモリスロット(最大 2GB のメモリをサポート) ◆ 2.5V DDR DIMM をサポート ◆ デュアルチャネル DDR 400/333 DIMM をサポート
スロット	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1 個の PCI エキスプレス x16 スロット ◆ 2 個の PCI エキスプレス x1 スロット ◆ 3 個の PCI スロット
IDE 接続	◆ 1 つの IDE 接続(UDMA 33/ATA 66/ATA 100)で、2 台の IDE デバイスに接続可能(IDE1)
FDD 接続	◆ 1 つの FDD 接続で、2 台の FDD デバイスに接続可能
オンボード SATA	◆ 4 つのシリアル ATA コネクタ
周辺装置	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1 個の平行ポートで通常/EPP/ECP モードをサポート ◆ 2 個のシリアルポート(COMA/COMB) ◆ 8 個の USB 2.0/1.1 ポート(後部 x4、前部 x4 ケーブル経由) ◆ 1 個のフロントオーディオコネクタ ◆ 1 個の IR コネクタ ◆ 1 個の PS/2 キーボードポート ◆ 1 個の PS/2 マウスポート
オンボード LAN	<ul style="list-style-type: none"> ◆ オンボード Marvell 8001 チップ(10/100/1000 Mbit) ◆ 1 個の RJ45 ポート
オンボード オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ALC850 コーデック(UAJ) ◆ Jack-Sensing サポート ◆ 2/4/6/8 チャンネルオーディオをサポート ◆ ライン入力、ライン出力(フロントスピーカー出力)、マイク、サラウンドスピーカー出力(リアスピーカー出力)、センター/サブウーファースピーカー出力、サイドスピーカー出力の接続をサポート ◆ SPDIF 入力/出力接続をサポート ◆ CD 入力

I/O コントロール	◆ IT8712
ハードウェアモ ニタ	◆ システム電圧検出 ◆ CPU 温度検出 ◆ CPU/システムファン速度検出 ◆ CPU 温度警告 ◆ CPU/システムファン故障警告 ◆ CPU スマートファンコントロール
BIOS	◆ ライセンス済み AWARD BIOS の使用 ◆ Q-Flash をサポート
その他の機能	◆ @BIOS をサポート ◆ EasyTune 5 をサポート
オーバークロッ ク	◆ BIOS によりオーバー電圧(CPU/DDR/PCI-E/FSB) ◆ BIOS によりオーバークロック(CPU/DDR/PCIE)
フォームファク ター	◆ ATX フォームファクタ(30.5cm x 22.0cm)

日本語

1-3 CPU とヒートシンクの取り付け



CPU を取り付ける前に、以下の手順に従ってください：

1. マザーボードが CPU をサポートすることを確認してください。
2. CPU の刻み目のある角に注目してください。CPU を間違った方向に取り付けると、適切に装着することが出来ません。装着できない場合は、CPU の挿入方向を変えてください。
3. CPU とヒートシンクの間にヒートシンクペストを均等に塗布してください。
4. CPU のオーバーヒートおよび永久的損傷が生じないように、システムを使用する前に、ヒートシンクが CPU に適切に取り付けられていることを確認してください。
5. プロセッサ仕様に従い、CPU ホスト周波数を設定してください。周辺機器の標準規格に適合しないため、システムバス周波数をハードウェア仕様以上に設定しないことをお勧めします。仕様以上に周波数を設定する場合は、CPU、グラフィックスカード、メモリ、ハードドライブ等を含むハードウェア仕様に従って設定してください。

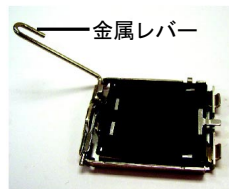


ハイパースレディング機能に必要な条件：

ご使用のコンピュータシステムでハイパースレディングテクノロジーが有効となるには下記のプラットフォームコンポーネント条件を全て満たしている必要があります。

- CPU：ハイパースレディングテクノロジー対応 Intel Pentium 4 プロセッサ
- チップセット：ハイパースレディングテクノロジー対応 Intel®チップセット
- BIOS：ハイパースレディングテクノロジー対応 BIOS およびその設定が有効になされる
- OS：ハイパースレディングテクノロジー対応の最適化機能を有するオペレーティングシステム

1-3-1 CPU の取り付け



金属レバー

図 1
CPU ソケットに位置する金属レバーを垂直にゆっくり引き上げます。

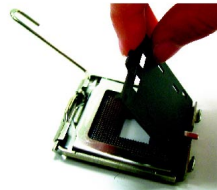


図 2
CPU ソケットのプラスチックカバーを外してください。

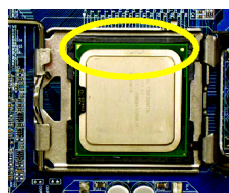


図 3
CPU ソケット端に位置する小さな金色の三角形に注目します。CPU の刻み目のある角を三角形に合わせ、CPU を静かに装着します。(CPU を親指と 4 本の指でしっかりつかみ、直線的な下方動作でソケットに押し込みます。装着時に CPU の損傷を引き起こす可能性のある、ひねりや曲げ動作は避けてください。)



図 4
CPU が適切に挿入された後、ロードプレートを元に戻し、金属レバーを元の位置に押し戻します。

1-3-2 ヒートシンクの取り付け

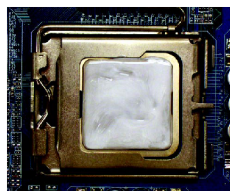


図 1
取り付けられたCPU表面にヒートシンクペーストを均一に塗ります。

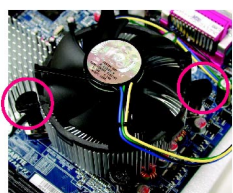


図 3
ヒートシンクをCPUの上にのせ、プッシュピンがマザーボード上のピン穴に向いているか確認します。プッシュピンを斜めに押し下げます。

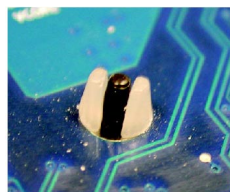


図 5
装着後にマザーボード背面をチェックしてください。プッシュピンが図のように挿入されていれば、装着は完了です。



注

ヒートシンクペーストの硬化により、ヒートシンクがCPUに付着する場合があります。付着を防止するには、ヒートシンクペーストの代わりにサーマルテープを使用し、熱を発散させるか、またはヒートシンクを取外す際は慎重に行ってください。

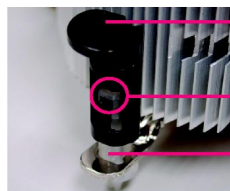


図 2
(プッシュピンを矢印方向に回し、ヒートシンクを取り外します。その反対は装着となります。)

装着前に、オス型プッシュピンの矢印方向を内向きにしないように注意してください。(この説明はインテルボックスファンのみに適用されます)

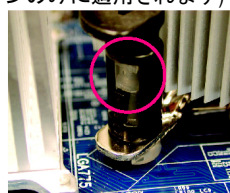


図 4
オス型とメス型プッシュピンが緊密に接合されているか確認します。(詳細な装着方法については、ユーザマニュアルのヒートシンク装着セクションを参照ください)

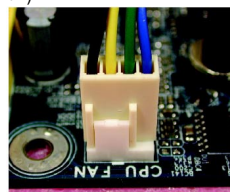


図 6
最後にヒートシンクの電源コネクタをマザーボードにある CPU ファンヘッダに接続します。

1-4 メモリの取り付け



注意

メモリモジュールを取り付ける前に、以下の手順に従ってください：

1. ご使用のメモリがマザーボードにサポートされているかどうかを確認してください。同様の容量、仕様、および銘柄のメモリをご使用することをお勧めします。
2. ハードウェアへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの取り付け/取り外し前に、コンピュータの電源を切ってください。
3. メモリモジュールは、きわめて簡単な挿入設計となっています。メモリモジュールは、一方向のみに取り付けことができます。モジュールを挿入できない場合は、方向を換えて挿入してください。

マザーボードは、DDR メモリモジュールをサポートし、BIOS は自動的にメモリ容量と仕様を検出します。メモリモジュールは、一方向のみに挿入するように設計されています。各スロットには異なる容量のメモリを使用できます。

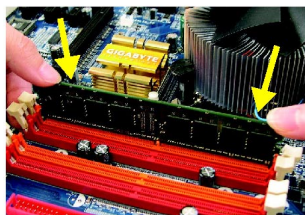
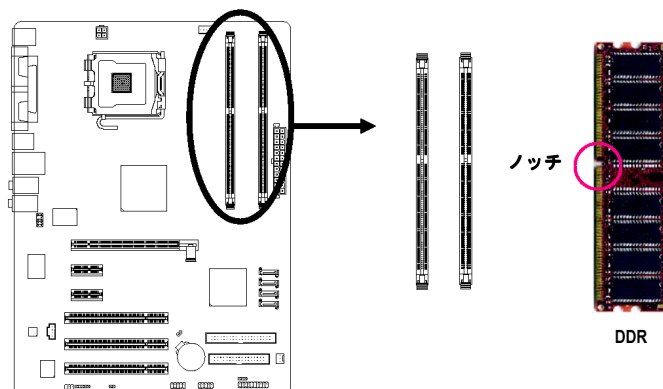


図 1

DIMM モジュールは DIMM ソケットのノッチにより一方向にしか差せないようになっています。DIMM メモリは、DIMM ソケットに真っ直ぐ差し込みます。そして下方に押し込みます。

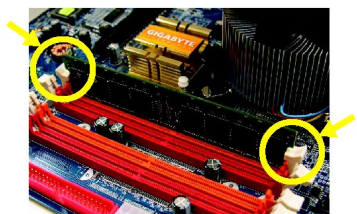


図 2

DIMM ソケットの両側にあるプラスチックのクリップを閉じて、DIMM モジュールを固定します。DIMM モジュールを取り外すにはインストールと逆の手順で行います。

デュアルチャンネル DDR

GA-8I915PL-G はデュアルチャンネルテクノロジーに対応しています。デュアルチャンネルテクノロジーの動作後は、メモリバスのバンド幅が2倍になります。

GA-8I915PL-G には2 DIMM ソケットが含まれ、各チャンネルが以下の通り2つの DIMM ソケットを搭載しています：

- ▶▶ チャンネル A : DDR 1
- ▶▶ チャンネル B : DDR 2

デュアルチャンネルテクノロジーで操作したい場合は、以下の説明は Intel チップセット仕様の制限対象になることにご注意ください。

1. 1 枚の DDR メモリモジュールをインストールする場合：1 枚の DDR メモリモジュールを取り付ける場合、デュアルチャンネルテクノロジーは機能しません。
2. 2 枚の DDR メモリモジュールをインストールする場合、デュアルチャンネル機能が使用可能かつ全ての DDR メモリモジュールを BIOS 検出できるために、同一のメモリ容量のものを使用してください。

2 つの DDR メモリモジュールを同じ色の DIMM に挿入し、デュアルチャンネルテクノロジーを有効にすることを強く推奨します。

以下のテーブルは、デュアルチャンネル技術の組み合わせを示します：(DS：両面実装、SS：片面実装)

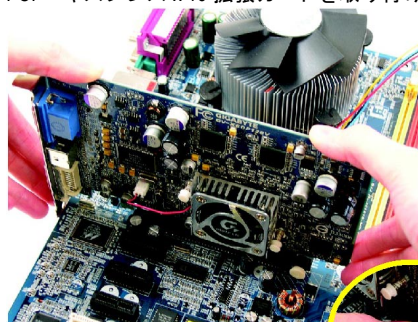
	DDR 1	DDR 2
2枚のメモリモジュール	DS/SS	DS/SS

1-5 拡張カードのインストール

以下の手順に従い、拡張カードを取り付けてください：

1. 拡張カードのインストールに先立ち、関連した指示説明をお読みください。
2. コンピュータからケースカバー、固定用ネジ、スロットブラケットを外します。
3. マザーボードの拡張スロットに拡張カードを確実に差しします。
4. カードの金属接点面がスロットに確実に収まったことを確認してください。
5. スロットブラケットのネジを戻して、拡張カードを固定します。
6. コンピュータのシャーシカバーを戻します。
7. コンピュータの電源をオンにします。必要であれば BIOS セットアップから拡張カード対象の BIOS 設定を行います。
8. オペレーティングシステムから関連のドライバをインストールします。

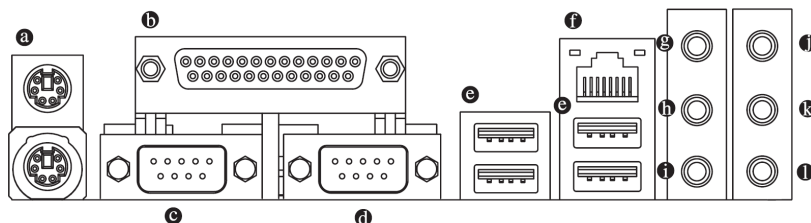
PCI エクスプレス x 16 拡張カードを取り付ける：



注意

PCI カードの装着/取り外し時には、エクスプレス x 16 スロット端の小さい白色の取り外しバーを注意深く引いてください。VGA カードをオンボード Express x 16 スロットにそろえ、スロットに確実に押し込んでください。ご使用になる VGA カードが小さな白いバーによってロックされたことを確認してください。

1-6 I/O 後部パネルの紹介



(a) PS/2 キーボードおよび PS/2 マウスコネクタ

PS/2 ポートキーボードとマウスを接続するには、マウスを上部ポート(緑色)に、キーボードを下部ポート(紫色)に差し込んでください。

(b) パラレルポート

パラレルポートは、プリンタ、スキャナ、および他の周辺装置に接続することができます。

(c)/(d) COM A/COM B (シリアルポート)

シリアルベースのマウス、またはデータ処理デバイスに接続します。

(e) USB ポート

USB コネクタに USB キーボード、マウス、スキャナー、zip、スピーカーなどを接続する前に、ご使用になるデバイスが標準の USB インタフェースを装備していることをご確認ください。またご使用の OS が USB コントローラをサポートしていることもご確認ください。

ご使用の OS が USB コントローラをサポートしていない場合は、OS ベンダーに利用可能なパッチやドライバの更新についてお問い合わせください。詳細はご使用の OS やデバイスのベンダーにお問い合わせください。

(f) LAN ポート

インターネット接続は、Gigabit イーサネットであり、10/100/1000Mbps のデータ転送速度が提供されます。

(g) ライン入力

CD-ROM やウォークマンなどはライン入力ジャックに接続できます。

(h) ライン出力(フロントスピーカー出力)

ステレオスピーカー、イヤホンまたはフロントサラウンドスピーカーをこのコネクタに接続してください。

(i) マイク入力

マイクロホン MIC 入力ジャックに接続します。

(j) リアスピーカー出力

リアサラウンドスピーカーをこのコネクタに接続します。

(k) センター/サブウーファースピーカー出力

センター/サブウーファースピーカーをこのコネクタに接続してください。

(l) サイドスピーカー出力

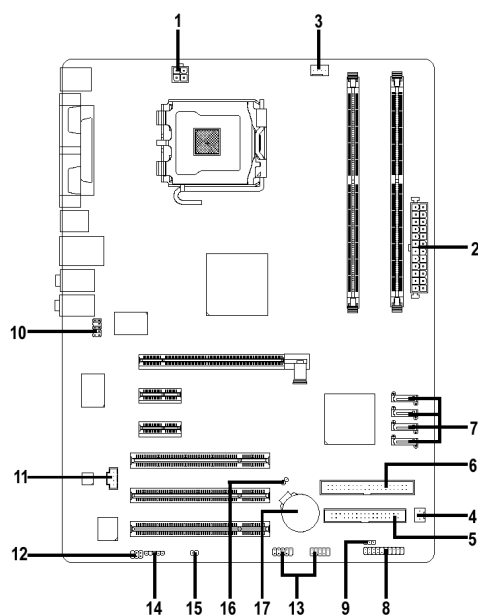
サイドサラウンドスピーカーをこのコネクタに接続します。



注

オーディオソフトを使用し、2-/4-/6-/8 チャンネルの音声機能を設定することができます。

1-7 コネクタはじめに



1) ATX_12V	10) F_AUDIO
2) ATX (Power Connector)	11) CD_IN
3) CPU_FAN	12) SPDIF_IO
4) SYS_FAN	13) F_USB1 / F_USB2
5) FDD	14) IR
6) IDE1	15) CI
7) SATA0 / SATA1 / SATA2 / SATA3	16) CLR_CMOS
8) F_PANEL	17) BAT
9) PWR_LED	

1/2) ATX_12V/ATX (電源コネクタ)

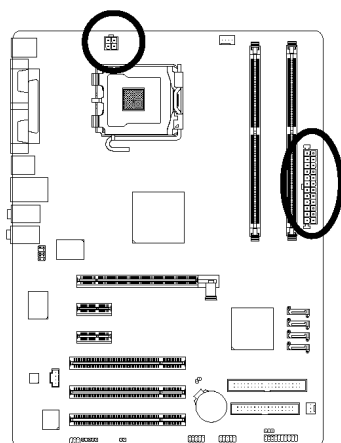
電源コネクタの使用により、安定した十分な電力をマザーボードのすべてのコンポーネントに供給することができます。電源コネクタを接続する前に、すべてのコンポーネントとデバイスが適切に取り付けられていることを確認してください。電源コネクタをマザーボードにしっかり接続してください。

ATX_12V 電源コネクタは、主に CPU に電源を供給します。ATX_12V 電源コネクタが適切に接続されていない場合、システムは作動しません。

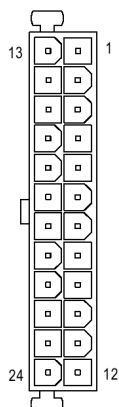
注意！

システムの電圧規格に適合するパワーサプライを使用してください。高電力消費 (300W 以上) に耐え得る電源をご使用することをお勧めします。必要な電力を提供できないパワーサプライを使用される場合、結果として不安定なシステムまたは起動ができないシステムになります。

24 ピン ATX 電源を使用する場合、電源コネクタ上のカバーを取り外し電源コードを接続してください。それ以外の使用時はカバーをはずさないでください。



ピン番号	定義
1	GND
2	GND
3	+12V
4	+12V



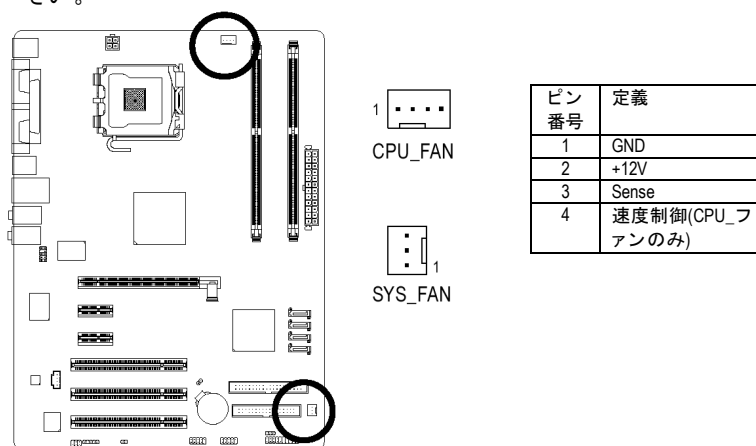
ピン番号	定義
1	3.3V
2	3.3V
3	GND
4	+5V
5	GND
6	+5V
7	GND
8	電源装置
9	5V SB (スタンバイ+5V)
10	+12V
11	+12V
12	3.3 V (24 ピン ATX のみ)
13	3.3V
14	-12V
15	GND
16	PS_ON(ソフトオン/オフ)
17	GND
18	GND
19	GND
20	-5V
21	+5V
22	+5V
23	+5V
24	GND

3/4) CPU_FAN / SYS_FAN (冷却ファン電源コネクタ)

クーラーファン電源コネクタは、3ピン/4ピン(CPUファン専用)電源コネクタ経由で+12V 電圧を供給し、接続が誰でも簡単にできるよう設計されています。ほとんどのクーラーには、色分けされた電源コネクタワイヤが装備されています。赤色電源コネクタワイヤは、正極の接続を示し、+12V 電圧を必要とします。黒色コネクタワイヤは、アース線(GND)です。システムのオーバーヒートや故障を防ぐため、必ず、冷却装置に電源を接続してください。

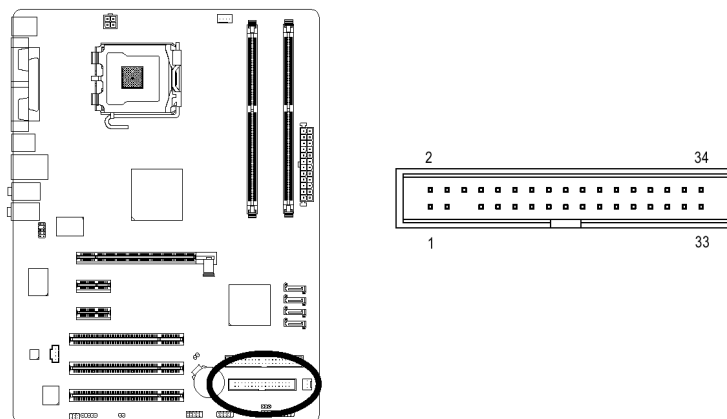
注意！

CPUのオーバーヒートや故障を防ぐため、必ず、CPUファンに電源を接続してください。



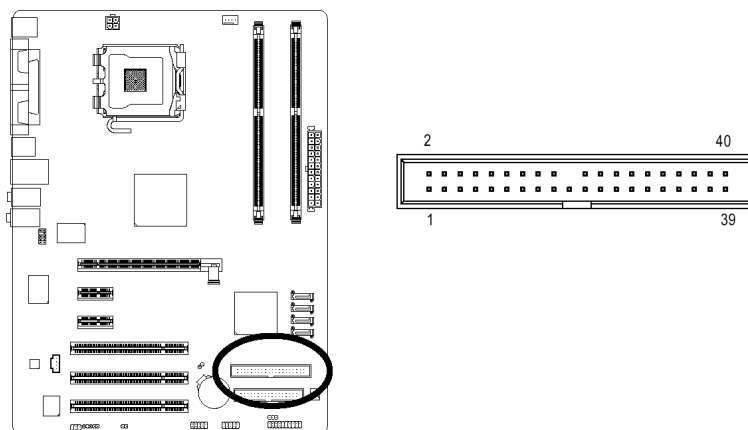
5) FDD (フロッピーコネクタ)

FDD コネクタは、FDD ケーブルの接続に使用し、もう一端は FDD ドライブに接続します。対応 FDD ドライブの種類は以下の通りです：360KB、720KB、1.2MB、1.44MB、および 2.88MB 赤色電源コネクタワイヤをピン 1 位置に接続してください。



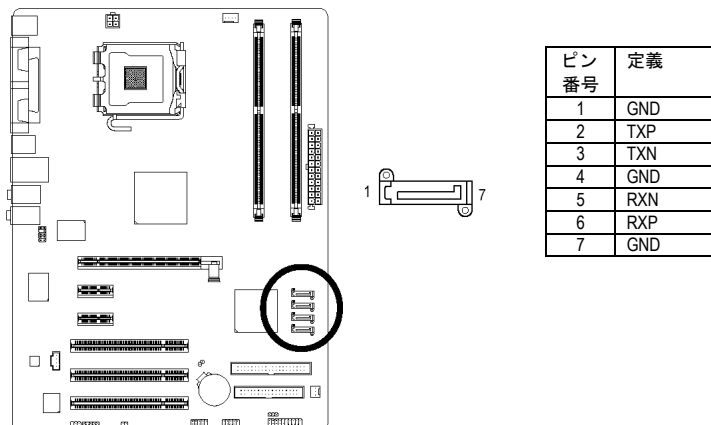
6) IDE1 (IDE コネクタ)

IDE デバイスは IDE コネクタによりコンピュータに接続します。1 つの IDE コネクタには 1 本の IDE ケーブルを接続でき、1 本の IDE ケーブルは 2 台の IDE デバイス(ハードドライブや光学式ドライブ)に接続できます。2 台の IDE デバイスを接続する場合は、一方の IDE デバイスのジャンパをマスターに、もう一方をスレーブに設定します(設定の情報は、IDE デバイスの指示を参照ください)。



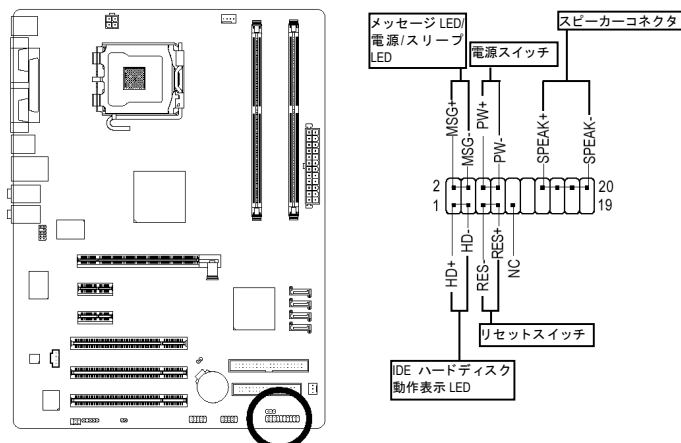
7) SATA0/SATA1/SATA2/SATA3 (シリアル ATA コネクタ)

シリアル ATA は、150MB/秒の転送速度を提供することができます。正しく動作させるため、シリアル ATA の BIOS 設定を参照し、適切なドライバをインストールしてください。



8) F_Panel (フロントパネルジャンパ)

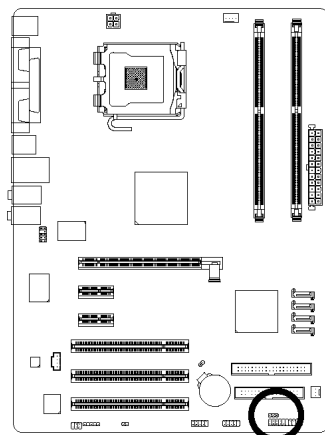
ご使用のケースのフロントパネルにある電源 LED、PC スピーカー、リセットスイッチおよび電源スイッチなどを以下のピン配列にしたがって、F_PANEL に接続します。



HD (IDE ハードディスク動作表示 LED)(青)	ピン 1 : LED 正極(+) ピン 2 : LED 負極(-)
SPEAK (スピーカーコネクタ) (アンバー)	ピン 1 : 電源 ピン 2-ピン 3 : NC ピン 4 : Data (-)
RES (リセットスイッチ) (緑)	オープン : 通常 ショート : ハードウェアシステムのリセット
PW (電源スイッチ) (赤)	オープン : 通常 ショート : 電源オン/オフ
MSG (メッセージ LED/電源/スリープ LED)(黄色)	ピン 1 : LED 正極(+) ピン 2 : LED 負極(-)
NC(紫)	NC

9) PWR_LED

PWR_LED はシステム電源表示ランプに接続してシステムのオン/オフを表示します。システムがサスペンドモードになると点滅します。

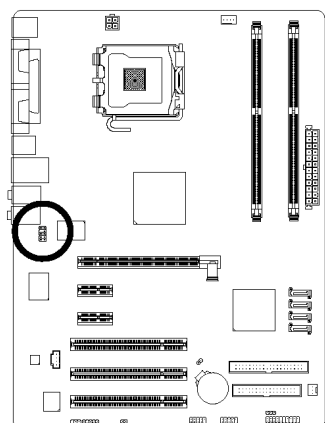


1

ピン番号	定義
1	MPD+
2	MPD-
3	MPD-

10) F_AUDIO (フロントオーディオコネクタ)

フロントオーディオコネクタを使用したい場合、5-6, 9-10 ジャンパを取り外す必要があります。フロントオーディオヘッダを利用するには、シャーシにフロントオーディオコネクタが備わっている必要があります。またケーブルのピン配列が MB ヘッダのピン配列と同一であることを確認してください。購入するシャーシがフロントオーディオコネクタに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。フロントオーディオコネクタまたはリアオーディオコネクタの何れかを使用してサウンドを再生できる点にご注意ください。

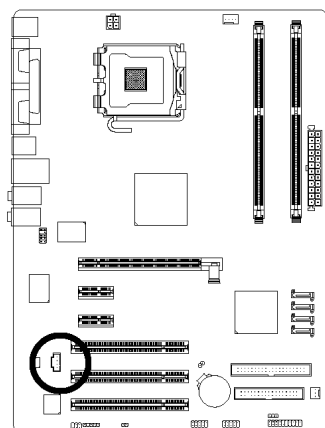


10 9
2 1

ピン番号	定義
1	MIC
2	GND
3	MIC_BIAS
4	電源
5	フロントオーディオ(R)
6	リアオーディオ(R)
7	予備
8	ピンなし
9	フロントオーディオ(L)
10	リアオーディオ(L)

11) CD_IN (CD 入力)

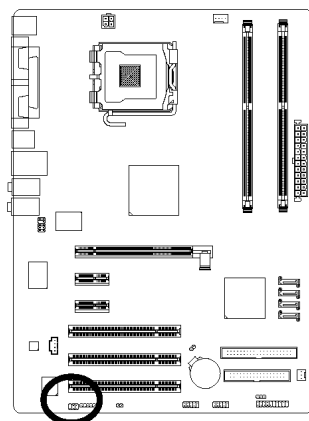
CD-ROM または DVD-ROM のオーディオ出力はこのコネクタに接続します。



ピン 番号	定義
1	CD-L
2	GND
3	GND
4	CD-R

12) SPDIF_IO (SPDIF 入/出力)

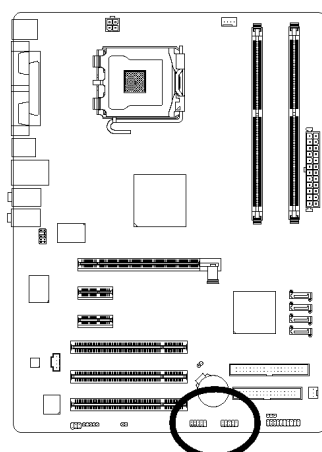
SPDIF 出力はデジタルオーディオを外部スピーカに、または圧縮された AC3 資料を外部の Dolby Digital デコーダに提供することができます。お手持ちのステレオシステムはデジタル入力機能を対応できるのみ、この機能を使用します。お手持ちのデバイスはデジタル出力機能を対応できるのみ、SPDIF 入力機能を使用します。SPDIF_IO コネクタの極性を注意してください。SPDIF ケーブルを接続する場合は、ピン配列を注意深く確認してください。ケーブルとコネクタの間の不正な接続はデバイスが使用不能になり、壊れる恐れがあります。オプションの SPDIF ケーブルには地元の販売代理店から購入してください。



ピン 番号	定義
1	電源
2	ピンなし
3	SPDIF
4	SPDIF
5	GND
6	GND

13) F_USB1 / F_USB2 (フロント USB コネクタ)

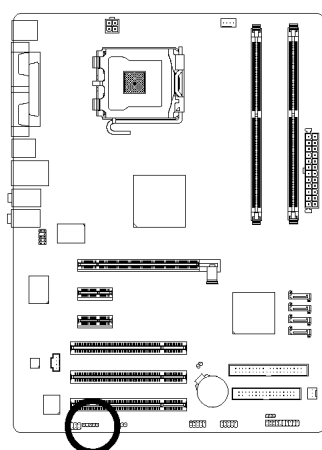
フロントUSB コネクタの極性にご注意ください。フロントUSB ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備のフロント USB ケーブルのお求めには地元の販売店にお問い合わせください。"USB Device Wake up From S3"は後部 USB ポートのみでサポートされます。



ピン番号	定義
1	電源
2	電源
3	USB Dx-
4	USB Dy-
5	USB DX+
6	USB Dy+
7	GND
8	GND
9	ピンなし
10	NC

14) IR

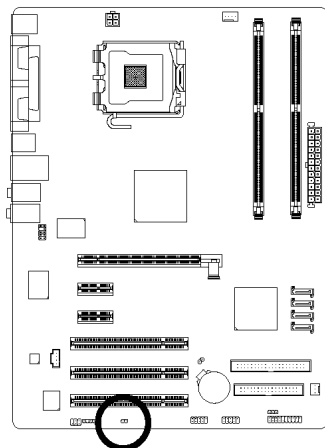
IR を接続する際は、IR コネクタの極性にご注意ください。オプションの IR デバイスの購入に関しては、最寄りの販売店にお問合せください。



ピン番号	定義
1	電源
2	ピンなし
3	IR RX
4	GND
5	IR TX

15) Cl (ケース侵入、ケース開放)

この2ピンコネクタは BIOS の“Case Open”項目の有効または無効にでき、本体ケースが開けられたことの検出に使用されます。

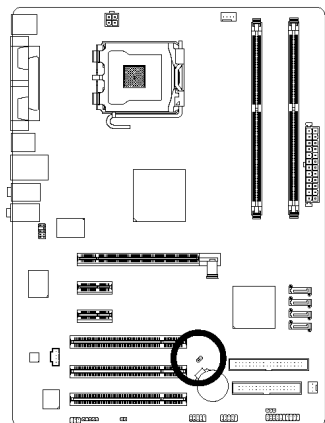


1

ピン番号	定義
1	信号
2	GND

16) CLR_CMOS (CMOS クリア)

このジャンパーにより、CMOS データをクリアしてデフォルト値に復元できます。CMOS のクリアには一時的に 1-2 番ピンをショートさせます。デフォルトではジャンパーの不適切な使用を防ぐ“シャンター(shunter)”はありません。



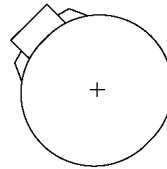
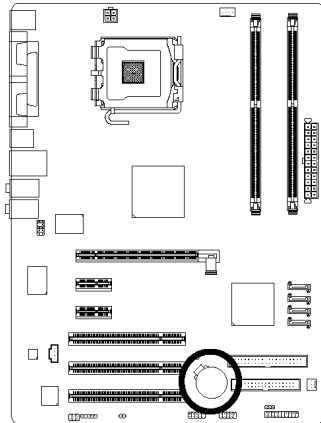
1

オープン：通常

1

短く：CMOS クリア

17) BAT (バッテリー)



- ❖ バッテリーの交換を間違えると爆発の危険があります。
- ❖ メーカー推奨と同一のタイプの物と交換してください。
- ❖ 使用済みバッテリーはメーカーの指示に従って廃棄してください。

CMOS 内容を消去するには...

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. バッテリーを外して、30 秒放置します。
3. バッテリーを入れなおします。
4. 電源コードのプラグを差し、コンピュータをオンにします。

日本語

日本語

[illegible]



Contact Us

● Taiwan (Headquarters)

GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD.

Address: No.6, Bau Chiang Road, Hsin-Tien, Taipei Hsien,
Taiwan

TEL: +886 (2) 8912-4888

FAX: +886 (2) 8912-4003

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address (English): <http://www.gigabyte.com.tw>

WEB address (Chinese): <http://chinese.giga-byte.com>

● U.S.A.

G.B.T. INC.

Address: 17358 Railroad St, City of Industry, CA 91748.

TEL: +1 (626) 854-9338

FAX: +1 (626) 854-9339

Tech. Support :

<http://www.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.giga-byte.com>

● Germany

G.B.T. TECHNOLOGY TRADING GMBH

Address: Friedrich-Ebert-Damm 112 22047 Hamburg

TEL: +49-40-2533040 (Sales)

+49-1803-428468 (Tech.)

FAX: +49-40-25492343 (Sales)

+49-1803-428329 (Tech.)

Tech. Support :

<http://de.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.de>

● Japan

NIPPON GIGA-BYTE CORPORATION

WEB address : <http://www.gigabyte.co.jp>

● Singapore

GIGA-BYTE SINGAPORE PTE. LTD.

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

● U.K.

G.B.T. TECH. CO., LTD.

Address: GUnit 13 Avant Business Centre 3 Third Avenue,
Denbigh West Bletchley Milton Keynes, MK1 1DR, UK, England

TEL: +44-1908-362700

FAX: +44-1908-362709

Tech. Support :

<http://uk.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://uk.giga-byte.com>

● The Netherlands

GIGA-BYTE TECHNOLOGY B.V.

TEL: +31 40 290 2088

NL Tech.Support: 0900-GIGABYTE (0900-44422983)

BE Tech.Support: 0900-84034

FAX: +31 40 290 2089

Tech. Support :

<http://nz.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.giga-byte.nl>

- **China**

NINGBO G.B.T. TECH. TRADING CO., LTD.

Tech. Support :

<http://cn.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.com.cn>

Shanghai

TEL: +86-021-63410999

FAX: +86-021-63410100

Beijing

TEL: +86-010-82886651

FAX: +86-010-82888013

Wuhan

TEL: +86-027-87851061

FAX: +86-027-87851330

GuangZhou

TEL: +86-020-87586074

FAX: +86-020-85517843

Chengdu

TEL: +86-028-85236930

FAX: +86-028-85256822

Xian

TEL: +86-029-85531943

FAX: +86-029-85539821

Shenyang

TEL: +86-024-23960918

FAX: +86-024-23960918-809

- **Australia**

GIGABYTE TECHNOLOGY PTY. LTD.

Tech. Support :

<http://www.giga-byte.com.au/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.giga-byte.com.au>

- **France**

GIGABYTE TECHNOLOGY FRANCES S.A.R.L.

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.fr>

- **Russia**

Moscow Representative Office Of Giga-Byte Technology Co., Ltd.

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.ru>

- **Poland**

Representative Office Of Giga-Byte Technology Co., Ltd.

POLAND

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.pl>
